

- ・矢印の方向優先順位は、以下のとおりで表記する。

1. 前方向
2. 右斜め前方向
3. 右方向
4. 右斜め後方向
5. 左斜め前方向
6. 左方向
7. 左斜め後方向

※ 後方は標記しない

- ・矢印の配置は、矢印の方向側にし、板面のレイアウトを左右中央揃えに調節する。



■ ユニバーサルデザインへの配慮

① 車椅子利用者歩行困難者

- ・スペースの確保や表示面の高さ、近づいて見られるようにするなど。

② 視覚障害者への配慮

- ・文字やピクトグラムの大きさや、色覚バリアフリーの視点からの配色等を採用する。
- ・点字ブロックのある歩道等への設置について、関連性の検討を行う。

■ 景観への配慮

① 施設デザイン

- ・景観に馴染むもの、シンプルなものとして、不要な造形や過度の装飾を避ける。

② サインの集約化

- ・案内サインと誘導サインが近くに設置される場合は、サイン施設の集約を行う。
- ・既存のサイン施設の利用や、集約したサインの設置を検討する。

③ 屋外広告物との調整

- ・公共サインの顕在性を高めるために、周辺の屋外広告物の規制と連携を図る。

